

災害への備えは 日ごろから！



賀露小学校児童による放水体験（賀露白浜運動場）



東部消防局による救出訓練（浜坂小学校）



市立病院による医療救護訓練（浜坂小学校）



浜坂地区自主防災会による初期消火訓練（浜坂小学校）



賀露地区住民による炊き出し訓練（賀露白浜運動場）



女性消防団員による救急救命講習（賀露白浜運動場）

鳥取市総合防災訓練のお知らせ

大地震による災害を想定し、本市、防災関係機関、市民など多数が参加して防災訓練を行います。

とき 9月9日（金）
10：00～12：00

会場 市役所（本庁舎、第二庁舎、駅南庁舎）、各総合支所（河原・用瀬・佐治町を除く）、城北小学校、千代川袋河原広場（河原・用瀬・佐治町の合同会場）、賀露白浜運動場、鳥取港、各事業所・各自主防災会など

※当日は、会場周辺をヘリコプターが飛行し、多数の特殊車両が通行します。また、会場周辺で交通規制が行われることがあります。ご理解とご協力をお願いします。



東日本大震災では、甚大な被害が発生し多くの尊い命が失われた一方で、私たちに多くの問題が提起されました。

私たち1人ひとりの力には限界がありますが、住民が助け合うことで、地域の被害を最小限に食い止めることが可能です。

災害発生時はもちろんのこと、常日ごろから地域のみなさんが一緒になって防災活動に取り組むた

め、組織が「自主防災会」であり、本市には780を超える自主防災会が組織されています。

災害に備え、日ごろから地域で実施される防災訓練に積極的に参加し、連帯感と防災に対する知識を養いましょう。

また、各家庭でも非常持出品や災害備蓄品を準備するなど、家庭から、地域から、災害に対する備えを今日から始めましょう。

問い合わせ先 本庁舎危機管理課 TEL 0857-20-3127

日ごろから地震に備えましょう

地震はいつやってくるか分かりません。日ごろから身の回りを確認し、危険箇所には対策を行いましょう。

また、家族やご近所の人、学校や職場の人と話し、避難場所や避難方法を確認しておきましょう。

地域や職場で行われる防災訓練に積極的に参加しましょう。

屋内の対策（例）

- ・家具は転倒防止のため金具で固定し、2段重ねのものはつなぎ目も固定しておく。
- ・寝室にはなるべく家具を置かない。
- ・廊下や通路、部屋の出入り口には物を置かない。

屋外の対策（例）

- ・ベランダの植木鉢や物干竿などが落下しないようにする。
- ・ブロック塀が倒壊しないよう補強する。ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は補修する。
- ・プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定する。



家族で決めておくこと

- ・避難方法、避難場所、連絡方法
- ・災害発生時の役割分担
- ・防災用具の確認、点検
- ・危険箇所のチェック・非常持出品のチェック

地震が発生したら

揺れを感じたら、まず身を守り、揺れがおさまってから次の点などに注意し避難しましょう。

- ・火の始末は身の安全確保後すみやかに行う。
- ・避難する前に電源ブレーカーを切る。
- ・避難場所への避難は、狭い道を避け安全な経路を通る。
- ・頭部を保護し、落下物に十分注意する。
- ・避難は、市の防災無線やテレビ、ラジオなどから正確な情報を入手しデマに惑わされない。



非常持出品と災害備蓄品

チェックして災害に備えましょう。

非常持出品（例）

避難時に携行します。両手が使えるよう、リュックサックなどに準備しましょう。

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 手回し充電器
- 非常食（ 乳幼児には粉ミルク）
- 水
- 貴重品（ 現金・ 預金通帳・ 印鑑・ 健康保険証）
- 救急医薬品（ きず薬・ ばんそうこう・ 解熱剤・ かぜ薬・ 胃腸薬・ 目薬・ 服用中の薬）
- その他（ おむつ・ 生理用品）



災害備蓄品（例）

大災害が発生すると、水道・電気施設、道路などの損壊により、救援活動に日数がかかります。救援までの目安として、3日分を準備しましょう。

- 食品（3日分）
- 水（大人1人当たり1日3ℓを目安に3日分）

「エリアメール」の配信を始めました

本市では、NTTドコモが提供する緊急速報サービス「エリアメール」による、避難勧告等の災害情報のメール配信を8月10日から開始しました。NTTドコモの携帯電話を使用する人へ、新たな費用負担や事前登録不要で防災情報を伝達します。本市では、防災情報の伝達手段の拡充に取り組んでおり、エリアメールで配信される災害情報は、防災無線や「あんしんトリプルメール」などでもお伝えします。

配信情報 避難勧告・指示、津波警報、テロ情報など
対応機種や受信設定など詳しくは、NTTドコモの専用ホームページ（<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail>）をご覧ください。



※ 現在、このようなサービスはNTTドコモのみが行っています。今後、他の携帯電話会社から同様のサービスが提供されることとなった場合には、順次対応していく予定です。